平成23年度に実施した事務事業の評価

番号	45018	事務事業名	学校教育一般事務	所管課	教育政策課

総合計画体系（後期）			
	部	2	子育て環境の充実
	章	3	学校教育の充実
	節（施策）	1	信頼される学校運営の推進

【将来像】

後期基本計画の節（施策）の目標です。

子どもたちが安心して学校に通い、生きる力を身につけています

【事業の目的】

対象（誰・何）が、どのような状態になることを目指していますか？

児童生徒数の推移や統計調査により学級数が算定され、学級編制（教員基準定数）が的確に作成されること。児童生徒の就学手続き、受付事務、区域外通学申請受付・承認が適正に実施されること。教育事務所等からの調査・照会が適正に回答されること。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			23年度		目標値			
			20年度	21年度	22年度	目標	実績	24年度	25年度	26年度	27年度
入学者数	小学校入学者＋中学校入学者	人	1701	1751	1770	1700	1697	1700	1700	1700	1700

【事業の内容】

対象（誰・何）に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

児童生徒数の推移や統計調査により学級数を把握し、教員基準定数を作成する。就学の手続き・受付事務区域外通学申請受付・承認いじめ・不登校を含む生徒指導上の諸問題に関する実態調査の実施及び各種調査回答の作成学校文書事務

事業費（単位：千円）		22年度決算	23年度決算	24年度予算
事業費合計		2,740	2,899	2,993
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	2,740	2,899	2,993
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

平成23年度に実施した事務事業の評価

【平成23年度の実施結果】

23年度 実施計画	引き続き、児童生徒数の把握を正確に行い、的確な学級編制および教員基準定数を作成する等、学校教育法等に基づく義務教育制度関係の事務事業を的確に実施する。学校文書事務については、学校側と協議の上、簡素化を図る。（導入済みの校務支援ソフトを活用し、紙ベース連携を減少）
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 児童生徒数を正確に把握、推計し、学級編制（教員基準定数）を的確に作成できた。児童生徒の就学手続き、受付事務、区域外通学申請受付・承認を適正に実施した。教育事務所等からの調査・照会を適正に回答した。

【担当課の一次評価】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 2	学校教育法等に基づく制度的な事務事業であるから。
民間、国、県、市の他の事業と目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 1	学校教育法等に基づく制度的な事務事業であるから。
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ （成果指標の「23年度」欄の目標を達成できていない場合は「3」を記入） 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる 9　法令等により市に実施義務があり、有効性を判断できない	評価 9	学校教育法等に基づく制度的な事務事業であるから。
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率・業務効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 2	学校教育法等に基づく制度的な事務事業であるから。

25年度の事務事業に向けての総合評価と改善策

内容・予算		総合評価	具体的な改善策（いつまでに何をしますか？）
内容	維持	引き続き、学校教育法等に基づく義務教育制度関係の事務事業を的確に実施する。	特記事項なし
予算	維持		

【平成25年度に向けての二次評価（最終評価）】

評価		理由及び検討事項
内容	維持	今後も引き続き効果的、効率的に実施する必要がある。
予算	維持	